



福島県学力調査の結果を指導に生かすために、分析の仕方と課題の見られた問題について、「教科等の部屋」で解説してきました。

4月の全国学力・学習状況調査に向けて、課題の見られた領域や問題に対して、具体的な対策を講じているのでしょうか？

4月の全国学力・学習状況調査まで、何をすればいいのかな。学年末、学年始めの休みもあるし・・・



長期的視点と短期的視点の双方から対策を立てることが大切です。長期的視点に立った対策は、調査結果にすぐに現れないかもしれませんが、しかし、長期的視点に立ち、全職員で取り組むことが学力向上の本質です。

長期的視点に立った対策

1 授業の改善

言語活動の充実を図る。

- 「身に付けさせたい力」を明確にする。
- 単元を貫く言語活動を設定する。
- 児童生徒の「大好き」「知りたい」「伝えたい」を重視する。

短期的視点に立った対策

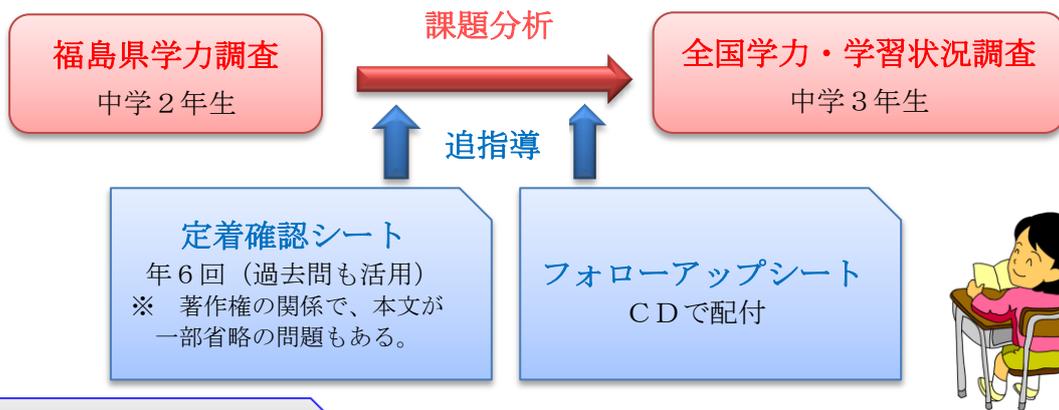
2 定着確認シート・フォローアップシートの活用

定着確認シートの効果的な活用法

- 正答率が低かった領域や問題を重点的に行う。
- 追指導を交えながら複数回行う。
 - ※ 定着確認シートの類似問題 → 追指導 → 定着確認シートの類似問題
- 個別指導が必要な児童生徒に対しては、教師が採点を行う。
 - ※ 特に、大問二の作文は、助言や部分点により学習意欲をもたせる。

フォローアップシートの効果的な活用法

- 正答率が低かった領域や問題は、授業の中でフォローアップシートを使って指導を行う。
- 春休みの課題として活用する場合は、実施状況を確認する。
 - ※ 特に、家庭学習の習慣が身に付いていない児童生徒に声かけをする。
- 一律に同じ枚数を渡すより、問題を児童生徒自身に選択させる。
 - ※ 共通問題（正答率が低い領域）と選択問題（個人差に対応）を設定する。
 - ※ 福島県学力調査の成績一覧を参考にし、選択問題を選ぶ際に助言する。
- 採点まで行い、定着状況を確認する。



3 授業外として

- 書く量、読む量を増やす。
 - ・ 日記指導や音読指導を行う。
 - ※ ある程度の分量の文章を抵抗なく、読んだり書いたりできることが重要です。
- 読書活動の充実を図る。
 - ・ 学校図書館を計画的に利用する。
 - ・ 本に触れる機会を増やす。
 - ・ 国語科の授業で、読書活動を伴う言語活動を設定する。
- 新聞を活用する。
 - ・ 図、写真、表の読み取りを行う。
- 辞書活用の日常化を図る。

全国学力・学習状況調査は、小学校6年生の担任
や中学校3年の教科担当だけの問題ではありませ
ん。学校全体で対策を話し合い、**組織を生かして**取
り組むことが重要です。

